

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1640025	__ 001
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	空き家対策推進事業					
担当部名	まちづくり推進部		担当課名	空家対策課		
実施方法	委託(NPO)	補助等の種類		実施主体	特定非営利活動法人岐阜空き家・相続共生ネット	
開始・終了年度	平成	30	年度～	年度	根拠法令・関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法岐阜市空家等対策計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜市空家等対策計画に基づき、空き家対策を推進する。</li> <li>・空き家の問題が認知され、空き家所有者からの空き家に関する問題解決に向けた相談の増加を図る。</li> </ul>					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家総合窓口において、空き家全般の相談を受け付ける。</li> <li>・空き家の適正管理や流通活用の促進を図るためのリーフレットを作成し、固定資産税の納税通知書に同封して送付する。</li> <li>・空き家の専門家と連携した空き家相談会を開催する。</li> </ul>					
事業の対象	何を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家総合窓口の運営</li> <li>・適正管理リーフレットの配布</li> <li>・空き家相談会の開催</li> </ul>				
	誰に	・空き家の所有者・管理者、地域住民				
	どのくらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正管理リーフレット 170,000部</li> <li>・空き家相談会 150コマ</li> </ul>				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	21,125	650	20,995	650	20,670	650
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	21,125	650	20,995	650	20,670	650

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		673	694	818
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	総合窓口	0	0	0
	リーフレット作成等	451	429	546
	相談会	222	265	272
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		673	694	818

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	21,798	21,689	21,488

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	182	428	492
計(F)	182	428	492

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	21,616	21,261	20,996

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	相談者	相談者	相談者
受益者数	407	514	512
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	53,111	41,364	41,008

**【7.指標】**

**アウトプット評価** (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	適正管理リーフレット配布		単位	部
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	170,000	170,000	173,800	
実績値	170,000	170,000	173,800	

**アウトカム評価** (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	空き家相談会 相談件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	153	150	150	
実績値	53	61	75	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	全国的に空き家が増加しており、管理されていない空き家が周辺的生活環境などへ及ぼす深刻な影響が問題となっており、空き家への対策を総合的かつ計画的に進めることが必要不可欠である。 空き家への対策は国、県、民間の関係団体や地域と連携して取り組んでいるものであり、そのなかで本事業は市が担うべき役割である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	リーフレット送付によって相談件数が年間約500件あり、効果は高い。空き家相談会では相談者の課題が一定程度解決に向かっている。 市民等の相談を総合的に一つの窓口で受け付けることは、わかりやすく効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	様々な相談に対応しており、空き家の適正管理や流通活用が促進されるという効果が期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	所有者や近隣の方を問わず全市の空き家に関する相談を受け付けており、公平性は確保されている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	空き家の問題は、高齢化と人口減少が続く現在、ますます進展していくことになるため、引き続き事業の実施(現状維持)が必要である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1640025 \_ 002

【1.基本情報】

事業名	空き家改修補助金				
担当部名	まちづくり推進部		担当課名	空家対策課	
実施方法	補助等	補助等の種類	その他補助金	実施主体	空き家購入者
開始・終了年度	令和元年度～	年度	根拠法令・関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法岐阜市空家等対策計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	空き家が流通・活用される。	
内容 (手段・手法など)	市外からの定住者・子育て・新婚世帯が市内の空き家を購入した場合や、岐阜市版空き家バンクに登録されている空き家を購入した場合、改修費の一部を補助する。	
事業の対象	何を	空き家改修費補助
	誰に	①自らが定住するために購入した空き家の改修を行う者 ②2人以上の世帯に属する者 ③市外からの定住者を含む世帯、子育て世帯、新婚世帯、岐阜市版空き家バンク登録空き家を購入した者のいずれか
	どのくらい	改修に係る費用の1/2(上限40万)
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	12,675	390	12,597	390	12,402	390
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	12,675	390	12,597	390	12,402	390

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		3,412	400	800
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	改修費補助	3,412	400	800
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		3,412	400	800

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	16,087	12,997	13,202

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	1,437	133	333
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	1,437	133	333

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	14,650	12,864	12,869

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	補助対象世帯	補助対象世帯	補助対象世帯
受益者数	6	1	2
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,441,667	12,864,000	6,434,500

**【7.指標】**

**アウトプット評価** (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度		
目標値	10	8	8	8
実績値	6	1	1	2

**アウトカム評価** (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	空き家の活用		単位	件
	令和2年度	令和3年度		
目標値	10	8	8	8
実績値	6	1	1	2
達成状況	×(未達成)	×(未達成)		×(未達成)

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	全国的に空き家が増加しており、管理されていない空き家が周辺的生活環境などへ及ぼす深刻な影響が問題となっており、空き家への対策を総合的かつ計画的に進めることが必要不可欠である。 空き家への対策は、国、県、民間の関係団体や地域と連携して取り組んでいるものであり、そのなかで本事業は市が担うべき役割である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助金を活用して空き家が活用されることにより、将来的に管理不全な空き家となって対策が必要になることを未然に防ぐ効果がある。 空き家を活用するという施策は、わかりやすく効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	空き家が活用されて空き家ではなくなるという効果が期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	空き家を活用する者かつ本市への定住促進に資する者に予算の範囲内で等しく補助するものであり、公平性は確保されている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	空き家の問題は、高齢化と人口減少が続く現在、ますます進展していくことになるため、引き続き事業の実施(現状維持)が必要である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1640025 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市版空き家バンク運営事業				
担当部名	まちづくり推進部		担当課名	空家対策課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画 空家等対策の推進に関する特別措置法岐阜市空家等対策計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	空き家の所有者や空き家の購入を検討している者に空き家バンクが認知され、物件が登録され、流通・活用を目的とする物件として認知される。				
内容 (手段・手法など)	空き家バンクに流通・活用を目的とする物件が登録される。				
事業の 対象	何を	全国版空き家バンクを活用した空き家の流通の支援			
	誰に	空き家の所有者で、売却を希望する者			
	どのくらい	150件程度			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	12,597	390	12,402	390
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	12,597	390	12,402	390

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	1,154	158
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	0	1,154	158
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	1,154	158

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	13,751	12,560

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	40	51
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	40	51

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	13,711	12,509

## 【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	空き家の売却希望者	空き家の売却希望者
受益者数	—	2	3
受益者負担額(千円)	—	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	6,855,500	4,169,667

## 【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	既存住宅状況調査軒数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	5	
実績値	—	—	3	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	空き家バンクへの登録		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	10	
実績値	—	—	3	
達成状況	—	—	×(未達成)	

## 【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	全国的に空き家が増加しており、管理されていない空き家が周辺の生活環境などへ及ぼす深刻な影響が問題となっており、空き家への対策を総合的かつ計画的に進めることが必要不可欠である。 空き家への対策は、国、県、民間の関係団体や地域と連携して取り組んでいるものであり、そのなかで本事業は市が担うべき役割である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	一般に流通しづらい空き家を空き家バンクに登録し流通を促進することで、将来的に管理不全な空き家となって対策が必要になることを未然に防ぐ効果がある。 一般に流通しづらい空き家を登録し流通を促進するという施策は、わかりやすく効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	一般に流通しづらい空き家を流通させて空き家を減少させるという効果が期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	全市の空き家売却希望者を対象としており、公平性は確保されている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	空き家の問題は、高齢化と人口減少が続く現在、ますます進展していくことになるため、引き続き事業の実施(現状維持)が必要である。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1640025 \_ 004

## 【1.基本情報】

事業名	管理不全な空き家に対する代行措置					
担当部名	まちづくり推進部		担当課名	空家対策課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	26	年度～	年度	根拠法令・関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法岐阜市空家等対策計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	保安上危険な状態にある空き家が発生した場合、緊急的に措置を行い危険を回避し、一時的に周辺の安全を確保する。					
内容 (手段・手法など)	保安上危険な状態にある空き家に対し、緊急的に最低限度の措置を行う。 のちに、所有者から費用を徴収する。					
事業の 対象	何を	危険な状態にある空き家に対する緊急的な措置による危険の回避				
	誰に	不特定多数の市民				
	どのくらい	危険な状態の解消				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	25,350	780	16,796	520	24,804	780
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	25,350	780	16,796	520	24,804	780

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	2,058
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	代執行	0	0	2,058
	緊急安全代行措置	0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	2,058

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	25,350	16,796	26,862

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	646
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	646

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	25,350	16,796	26,216

## 【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

## 【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	緊急安全代行措置		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2	2	2	
実績値	0	0	0	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	略式代執行		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	1	
実績値	-	-	1	
達成状況	—	—	○(達成)	

## 【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	全国的に空き家が増加しており、管理されていない空き家が周辺の生活環境などへ及ぼす深刻な影響が問題となっており、空き家への対策を総合的かつ計画的に進めることが必要不可欠である。 空き家への対策は、国、県、民間の関係団体や地域と連携して取り組んでいるものであり、そのなかで本事業は市が担うべき役割である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	危険な状態にある空き家に対する緊急的な措置であり、措置後に空き家所有者に費用を徴収する。 緊急性がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	不特定多数の市民に対する危険を回避するという効果が期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	不特定多数の市民に対する危険を回避するための措置であり、公平性は確保されている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	周辺の生活環境の改善を図るため、条例に基づいた措置であることから、引き続き事業の実施が必要である。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1640025 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	不良空き家除却補助金					
担当部名	まちづくり推進部		担当課名	空家対策課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他補助金	実施主体	不良空き家の所有者	
開始・終了年度	令和 2 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法岐阜市空家等対策計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	不良空き家が所有者により自主的に除去され、安心安全なまちづくりが進む。					
内容 (手段・手法など)	不良空き家と判定された空き家を除却する場合、除却費用の一部を補助する。					
事業の 対象	何を	不良空き家除却費補助				
	誰に	不良空き家の所有者				
	どのくらい	除却に係る費用の1/2(上限50万)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	16,900	520	16,796	520	16,536	520
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	16,900	520	16,796	520	16,536	520

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		4,466	6,853	7,771
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	除却費補助	4,466	6,853	7,771
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,466	6,853	7,771

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	21,366	23,649	24,307

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	1,595	2,926	2,771
県支出金	1,434	1,963	2,498
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	3,029	4,889	5,269

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	18,337	18,760	19,038

## 【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	補助対象者	補助対象者	補助対象者
受益者数	10	14	17
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,833,700	1,340,000	1,119,882

## 【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補助件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10		10	15
実績値	10		14	17

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	不良空き家の除却		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10		10	15
実績値	10		14	17
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

## 【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	全国的に空き家が増加しており、管理されていない空き家が周辺の生活環境などへ及ぼす深刻な影響が問題となっており、空き家への対策を総合的かつ計画的に進めることが必要不可欠である。 空き家への対策は、国、県、民間の関係団体や地域と連携して取り組んでいるものであり、そのなかで本事業は市が担うべき役割である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている管理不全な空き家の除却を促進していくことで、特定空家等となり特措法に基づく措置や最終的に行政代執行となることを防止する効果が期待できる。 除却しか解決策がない空き家に対する施策は、分かりやすく効率的である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	周辺地域へ深刻な影響を及ぼしている管理不全な空き家が除却されることで、周辺の生活環境が改善されるという効果が期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	周辺の生活環境を改善するために、除却が必要な管理不全な空き家の所有者に対して補助するものであり、公平性は確保されている。
<b>【総合評価】</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	空き家が増加しているなかで、放置されることにより管理不全となる空き家も増加していることから、周辺の生活環境の改善を図るため、引き続き事業の実施が必要である。